

**製品名: E2F1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03768**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 70 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	E2F1
別名	E2F1; RBBP3; Transcription factor E2F1; E2F-1; PBR3; Retinoblastoma-associated protein 1; RBAP-1; Retinoblastoma-binding protein 3; RBBP-3; pRB-binding protein E2F-1
遺伝子 ID	1869
SwissProt ID	Q01094
免疫原	ヒト E2F1 の合成ペプチド

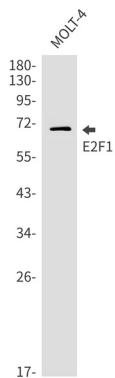
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 E2F ファミリーのメンバーです。E2F ファミリーは細胞周期の制御と腫瘍抑制タンパク質の作用に重要な役割を果たしており、また、小型 DNA 腫瘍ウイルスの形質転換タンパク質の標的でもあります。

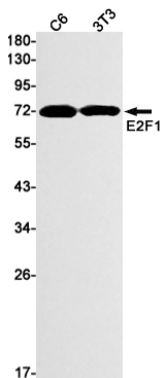
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

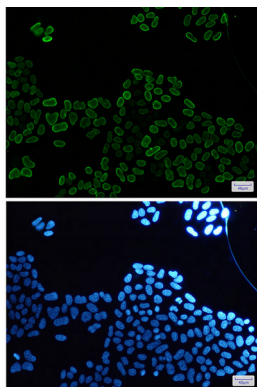
## 画像データ



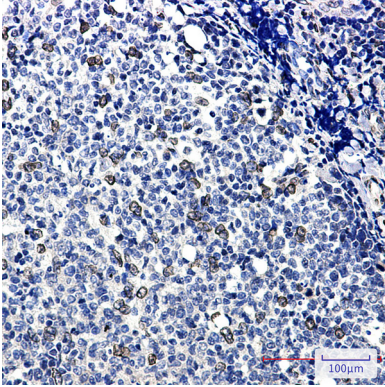
E2F1 抗体を使用した MOLT4 溶解物中の E2F1 のウェスタン ブロット分析。



E2F1 抗体を使用した C6、3T3 溶解物中の E2F1 のウェスタン ブロット分析。



E2F1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の E2F1 (緑) の免疫細胞化学分析



E2F1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。